

## 第8回松戸駅周辺まちづくり委員会議事録（概要版）

日 時 平成29年3月24日（金）10時～11時30分

場 所 松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席委員 委員11名（別紙委員名簿のとおり）

欠席委員 太下委員、山崎委員、大塚委員、桑原委員

事務局 街づくり部審議監、街づくり部技監、街づくり課長  
他12名

傍聴者 10名

### 議 題

1. 「戸定フォーラム予定地」「春雨橋親水広場」に関する答申について
2. 新拠点ゾーン整備基本構想について
3. 部会の設置及び部会員の報告について
4. その他

### 配付資料

1. 次第
2. 委員名簿
3. 説明資料
4. 松戸駅周辺まちづくり基本構想

## 「戸定フォーラム予定地」「春雨橋親水広場」に関する答申について

- 「松戸駅周辺街づくり基本構想に基づく各種事業計画について」における「戸定フォーラム予定地」及び「春雨橋親水広場」について答申

## 新拠点ゾーン整備基本構想について

### 【事務局説明】

- ・国有地取得に向け、新拠点ゾーンの適切な土地利用を検討する旨の覚書を関東財務局と交わしている。
- ・土地区画整理事業による敷地整備、道路整備などを検討している。
- ・松戸中央公園の南北に施設建築物を配置することをひとつの方向性として検討している。
- ・公園の整備については、戸定が丘歴史公園の拡張と連動して再編成し、相模台公園及び松戸中央公園の面積の一部を、戸定が丘歴史公園へ移転する方向で検討している。
- ・再編にあわせ、松戸中央公園のリニューアルも検討している。
- ・南側エリアには、市庁舎等の業務機能を配置して、東葛地域の行政、司法の中心としての機能、利便性を高めていくことをひとつの方向性として検討している。
- ・北側エリアには、文化、教育的な施設を配置することで、賑わいを創出し、周囲へ循環させていく場所とすることを考えている。
- ・公共施設建築物全体の面積、配置は、必要となる機能や共用可能なスペースなどの更なる精査を行った上で、配置や面積を決めていく。
- ・事業費を抑制する視点としては、移転となる公共用地の売却も含めて有効活用を図り、施設の建築については、PFIなどによる民間活力の導入を検討することで、初期投資を軽減し全体事業費の抑制に努めることも検討していきたいと考えている。
- ・平成29年度は、新拠点ゾーン整備の実現に向けた基本的な枠組みとなる新拠点ゾーン整備基本構想について、年度内に策定を行いたいと考えている。

### 【審議内容（各委員からの意見）】

- ・設置する施設は単なるハコモノとするのではなく、交流が生まれるようなものを造ってほしい。
- ・北側エリアで、結婚式ができるようなホテルを造ってほしい。
- ・南北に分かれて公共施設が設置される計画になっているが、利用者の利便性も考慮すべき。
- ・ひとつの施設で様々な用途に利用できるようなものを考えてはどうか。
- ・市役所をただ手続に来る場所とするのではなく、婚姻届、出生届等の手続の際に、人前

結婚式など、演出できるような仕組みを作ってほしい。

- ・松戸駅から新拠点ゾーンへのアクセスはどうするのか。

⇒【事務局】現在、関係権利者と協議しているところである。

- ・現在、一方通行となっているところはどうか。

⇒【事務局】今後、相互通行の検討をしていきたいと考えている。

- ・北側と南側、また新拠点ゾーンと周辺を結ぶワンコインバスのようなものがあると回遊性やつながりが生まれ良いと思う。

- ・新拠点ゾーン全体をひとつの公園と捉えて、全体のマスタープランを立てて考えてはどうか。

## 部会の設置及び部会員の報告について

- 「水・みどり・歴史部会」及び「都市部会」を設置し、都市部会の中に、「新拠点ゾーン整備基本構想検討専門チーム」を置くこととする。

## その他

【審議内容（各委員からの意見）】

- ・百貨店をはじめとする周辺の店舗もうまく取り込んで、商業施設で盛り上げていくことも重要ではないか。
- ・シンボル軸について、可能な限り一体となるようなランドデザインを構築してほしい。
- ・ソフト面で、まちの中で様々なおもしろい活動をしている人たちを取り込んでいくと良いと思う。

議事録署名委員 長江 曜子 委員

林 護 委員